

文化の森からのお知らせ

8月の休館日 毎週月曜日・26日(火)

問 文化の森 28・1110

〒505-0004 蜂屋町上蜂屋3299-1

■四季を食べる講座

●ユワカシとおはぎ

お月見に食べられていたユワカシとおはぎで気持ちも丸く…。

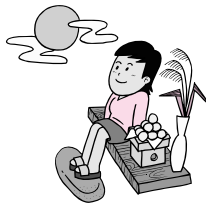
◇と き 9月2日(火)

午前10時～午後1時

※開始時刻30分前より受付

◇定員 20人

◇参加料 200円



●重陽の節句のごちそう

五大節句のひとつ重陽(中国由来)が昔、9月9日に行われ、祝い膳として食べられていた栗おこわをいただきます。

◇と き 9月21日(日)

午前10時～午後1時

※開始時刻30分前より受付

◇定員 20人

◇参加料 200円

※どちらの講座もエプロン・三角きんをお持ちください



■森の朗読会

みのかも「声のドラマ」の会による朗読会です。

◇と き 9月20日(土)

午後2時～3時

◇定員 120人

◇参加料 無料

■発明くふう展

子どもたちの夏休みの成果をご覧ください。

◇と き

9月5日(金)

～7日(日)

午前9時

～午後5時

◇観覧料

無料



■自然の楽しみ方「奥山林道を歩こう」

秋の野草を観察します。

◇と き 9月27日(土)

午前10時～午後3時

◇定員 20人

◇参加料 無料

◇申込み 8月30日(土)～9月13日(土)必着

※雨天中止



《事前申込み》

直接またははがき(必着)に、住所・氏名・電話番号・講座名を記入の上、文化の森へ
 ※はがきの場合は、1枚につき1講座
 ※電話・FAX・メールによる受け付けは行いません

※申込み多数の場合は抽選となります

※定員に余裕のある場合に限り、講座当日先着順に受け付けしますので事前にお問い合わせください

事前
申込み

可茂公設市場一般開放

可茂公設市場では、皆さんに市場を楽しんでいただくために、市場を特別に開放し、青果物などを販売します。

◇と き 9月6日(土) 午後1時～3時

7日(日) 午前9時～午後3時

◇ところ 可茂公設市場(可児市)

※詳細については、可茂公設地方卸売市場組合(62・7711)へ



問 農政課 内線334

アキラさんとまこと君 ～ふたりのオーケストラ～

音の魔術師二人の、笑いあり、ちょっぴり切ない涙あり、そして、最後はやっぱり笑顔ショー仕立てのぜいたく極まりない至福のコンサートです。ご家族そろってお楽しみください。

◇と き 10月25日(土)

午後2時開演(午後1時30分開場)

◇ところ 文化会館

◇入場料 大人 1,800円(当日2,000円)

高校生以下 500円

※3歳以下入場不可

※託児所あり(要申込み)

※全席指定

※チケットは、8月30日(土)から文化会館・文化の森・中央公民館・各連絡所(太田連絡所を除く)・アピタ美濃加茂店などで販売します



◆宮川彬良(みやがわあきら)
NHK教育TV『クインテット』や“マツケンサンバ”の作者として大活躍の作曲家、ピアニスト。



◆平原まこと
マルチサックスの名のごとく8種類以上の楽器を吹きこなす。超売れっ子プレイヤー。平原綾香の父でもある。

問 文化会館 25・1108

ダブル襲名記念! 林家木久扇・林家木久蔵親子会

昨年9月に落語界史上初のダブル襲名を果たした林家親子をお招きします。この機会に落語をお楽しみください。

◇と き 10月5日(日) 午後2時開演(午後1時30分開場)

◇ところ 文化会館

◇入場料 大人 1,500円

高校生以下 500円

※全席自由

※未就学児入場不可

※チケットは、8月16日(土)から文化会館・文化の森・中央公民館・中央図書館・プラザちゅうたい・各連絡所(太田連絡所を除く)・アピタ美濃加茂店などで販売します



問 文化会館 25・1108

あじさい看護福祉専門学校の
市民公開講座

木藤潮香さん講演会

◇と き 9月20日(土) 午前10時～正午

◇ところ あじさい看護福祉専門学校(川合町)

◇演題 「いのちに寄り添う～病を生きる人とその家族を支えるために大切なこと～」

◇講師 木藤 潮香さん

◇対象 小学3年生以上

◇定員 50人(先着順)

◇参加料 無料

◇申込み 電話で、あじさい看護福祉専門学校(28・2131)へ

※詳細については、あじさい看護福祉専門学校へ



◇プロフィール 娘・亜也さんは15歳で脊髄(せきずい)小脳変性症という難病にかかる。病気の進行に伴う障がい重度化に苦難な人生を歩く。しかし、生きることをあきらめず「人の役に立ちたい」という夢も捨てなかった。亜也さんは闘病日記「1リットルの涙」を出版した後、25歳で旅立つ。原作は映画やテレビドラマとなり放映され、多くの人々に感動を与えた。娘のいのちに寄り添い、愛で包んだ母親が、その当時を語る。

問 行政経営課 内線246